

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社RVH 上場取引所 東
 コード番号 6786 URL https://rvh.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 佑一
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 松崎 奈穂 (TEL) 03-6277-8031
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,169	△97.2	△223	—	△172	—	△6,154	—
2020年3月期第3四半期	42,207	△5.9	232	—	435	—	△2,267	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △6,159百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △2,266百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△318.39	—
2020年3月期第3四半期	△117.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,146	945	22.8
2020年3月期	78,875	7,104	9.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 945百万円 2020年3月期 7,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます。今後業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 - 社(社名) - 、除外 2社(社名) 株式会社ミュゼプラチナム
 株式会社不二ビューティ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	19,330,560株	2020年3月期	19,330,560株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	600株	2020年3月期	600株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	19,329,960株	2020年3月期3Q	19,329,960株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの影響により停滞していた経済活動が徐々に再開され、景気動向には一部持ち直しが見られたものの、感染拡大の第2波、第3波への警戒感が強く残るなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要取引先である情報サービス産業においては、在宅勤務等による商談機会の減少や、投資予算の削減、投資計画の見直しが図られていること等により、一部IT投資計画の中断や遅延が生じる状況が継続しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高1,169百万円(前年同期比97.2%減)、営業損失223百万円(前年同期は営業利益232百万円)、経常損失172百万円(前年同期は経常利益435百万円)、第1四半期連結会計期間において、特別損益として、株式会社ミュゼプラチナムの株式譲渡に係る関係会社株式売却益356百万円、株式会社ラブリークィーンの株式譲渡に係る関係会社株式売却損451百万円及び債権放棄損742百万円を計上したこと、第2四半期連結会計期間において、株式会社トラストベイルに対する債権譲渡代金に係る貸倒引当金繰入額1,270百万円を特別損失として計上したこと等により、税金等調整前四半期純損失2,407百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失1,076百万円)となり、法人税等合計3,746百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失6,154百万円(前年同期は2,267百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、上記のとおり、第1四半期連結会計期間において従来の「レディスサービス事業」セグメントに属する全子会社を第三者へ譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、従来の「その他事業」セグメントを再編し、「システム開発」及び「WEBサービス」の2区分に報告セグメントを変更しております。

1) システム開発

当第3四半期連結累計期間におけるシステム開発セグメントでは、顧客のIT投資抑制や案件の延期等により一部新規案件の獲得が停滞した一方、引き続き業務自動化・効率化に係る開発案件の需要が増加したこと等により売上高は765百万円(前年同期比5.8%増)となりました。利益面におきましては、第1四半期において緊急案件に係る外注費が増加した一方、2020年10月頃より開発案件の受注が安定傾向で推移し、当第3四半期会計期間ではセグメント利益が黒字転換したこと等から、セグメント損失30百万円(前年同期はセグメント損失34百万円)となりました。

2) WEBサービス

当第3四半期連結累計期間におけるWEBサービスセグメントでは、主に第1四半期において当社グループ美容関連会社の譲渡に伴い一部広告案件が終了したこと、2020年12月22日公表の「連結子会社の異動(子会社株式の譲渡)に関するお知らせ」のとおり、2020年12月22日付にて株式会社スカイリンクの全株式を譲渡し、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外したこと等から、売上高は404百万円(前年同期比79.9%減)となりました。利益面におきましては、引き続き経費削減に注力したこと等により、セグメント損失5百万円(前年同期はセグメント損失48百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,167百万円(前連結会計年度末と比較して26,826百万円減)となりました。これは主に、レディスサービス事業セグメントに係る子会社株式を譲渡したことにより、受取手形及び売掛金が14,851百万円減少、未収入金が6,915百万円減少、商品及び製品が2,924百万円減少、現金及び預金が1,413百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は2,979百万円(前連結会計年度末と比較して47,902百万円減)となり、これは主に、レディスサービス事業セグメントに係る子会社株式を譲渡したことにより、のれんが24,628百万円減少、有形固定資産合計が7,906百万円減少、繰延税金資産が10,207百万円減少、投資その他の資産のその他が3,241百万円減少したこと等によるものであります。減少した有形固定資産のうち主なものは建物付属設備、工具備品、土地、減少したその他資産のその他のうち主なものは敷金及び保証金であります。

この結果、総資産は4,146百万円(前連結会計年度末と比較して74,728百万円減)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,009百万円(前連結会計年度末と比較して53,835百万円減)となりました。これは主に、レディスサービス事業セグメントに係る子会社株式を譲渡したことにより、前受金が45,965百万円減少、未払金が2,460百万円減少、短期借入金が2,091百万円減少、その他が3,039百万円減少した一方、未払法人税等が1,388百万円増加したこと等によるものであります。減少したその他のうち主なものは未払費用であります。

固定負債は191百万円(前連結会計年度末と比較して14,734百万円減)となり、これは主に、レディスサービス事業セグメントに係る子会社株式を譲渡したことにより、長期預り金が14,396百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,200百万円(前連結会計年度末と比較して68,569百万円減)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は945百万円(前連結会計年度末と比較して6,159百万円減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が6,154百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済の先行きを見通すことが困難な状況が続くものと予想されます。当社グループの各事業においても、新規案件の提案等の営業活動に一部影響が発生しておりますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期や再流行の可能性等の先行きが極めて不透明であることから、現時点で通期の連結業績予想を合理的に算定することは困難であると判断し、未定とさせていただきます。

今後、業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,060	646
受取手形及び売掛金	15,031	180
商品及び製品	2,930	5
仕掛品	48	7
原材料及び貯蔵品	565	0
未収入金	6,916	1
短期貸付金	765	292
その他	1,981	32
貸倒引当金	△2,305	—
流動資産合計	27,993	1,167
固定資産		
有形固定資産	7,920	14
無形固定資産		
のれん	24,628	—
その他	386	16
無形固定資産合計	25,014	16
投資その他の資産		
投資有価証券	1,480	1,458
長期貸付金	3,131	2,696
繰延税金資産	10,237	29
その他	3,301	60
貸倒引当金	△204	△1,295
投資その他の資産合計	17,946	2,948
固定資産合計	50,881	2,979
資産合計	78,875	4,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,126	7
短期借入金	2,101	10
1年内返済予定の長期借入金	147	29
未払金	2,514	53
未払法人税等	37	1,425
前受金	45,967	2
賞与引当金	196	0
返品調整引当金	138	—
ポイント引当金	80	—
預り金	1,427	1,411
その他	3,108	68
流動負債合計	56,844	3,009
固定負債		
長期借入金	282	183
長期預り金	14,396	—
退職給付に係る負債	191	1
その他	55	6
固定負債合計	14,925	191
負債合計	71,770	3,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,678	1,678
資本剰余金	7,520	7,520
利益剰余金	△2,098	△8,253
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,099	945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	0
退職給付に係る調整累計額	7	—
その他の包括利益累計額合計	5	0
純資産合計	7,104	945
負債純資産合計	78,875	4,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	42,207	1,169
売上原価	6,979	956
売上総利益	35,228	213
返品調整引当金戻入額	664	—
返品調整引当金繰入額	653	—
差引売上総利益	35,238	213
販売費及び一般管理費	35,005	437
営業利益又は営業損失(△)	232	△223
営業外収益		
受取利息	162	42
受取配当金	6	0
貸倒引当金戻入額	62	—
その他	60	14
営業外収益合計	292	57
営業外費用		
支払利息	78	4
その他	10	0
営業外費用合計	89	5
経常利益又は経常損失(△)	435	△172
特別利益		
固定資産売却益	1	—
関係会社株式売却益	—	438
移転補償金	21	—
保険差益	13	—
その他	4	3
特別利益合計	40	441
特別損失		
減損損失	397	67
貸倒引当金繰入額	1,070	1,270
関係会社株式売却損	30	456
関係会社債権放棄損	—	742
その他	53	139
特別損失合計	1,552	2,677
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,076	△2,407
法人税、住民税及び事業税	27	1,350
法人税等調整額	1,163	2,395
法人税等合計	1,190	3,746
四半期純損失(△)	△2,267	△6,154
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,267	△6,154

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△2,267	△6,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
退職給付に係る調整額	—	△7
その他の包括利益合計	0	△4
四半期包括利益	△2,266	△6,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,266	△6,159

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	レディス サービス事業	システム開発	WEBサービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,311	715	180	42,207	—	42,207
セグメント間の内部売上 高又は振替高	21	8	1,834	1,863	△1,863	—
計	41,333	723	2,014	44,071	△1,863	42,207
セグメント利益又は損失 (△)	289	△34	△48	206	26	232

(注) 1. セグメント損益の調整額26百万円には、セグメント間取引消去196百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△170百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レディスサービス事業」セグメントでの事業譲受対価の変動により、当第3四半期連結累計期間において、のれんが1,076百万円増加しており、また、「WEBサービス」セグメントにおいて一部子会社にて当初想定していた収益が見込めなくなったため減損損失356百万円を計上しております。

また、「レディスサービス事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社イナンナを、重要性が増したため連結の範囲に含めております。これに伴うのれんの増減額は、当第3四半期連結累計期間において548百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	レディス サービス事業	システム開発	WEBサービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	—	765	403	1,168	1	1,169
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	0	0	0	△0	—
計	—	765	404	1,169	0	1,169
セグメント損失(△)	—	△30	△5	△35	△188	△223

(注) 1. セグメント損益の調整額△188百万円には、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△213百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社である株式会社ミュゼプラチナム、株式会社不二ビューティ、株式会社ラブリークィーンの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、レディスサービス事業セグメントののれんの金額が減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は24,545百万円であります。

また、第2四半期連結会計期間において、「WEBサービス」セグメントにおいて一部子会社にて当初想定していた収益が見込めなくなったため減損損失67百万円を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来「レディスサービス事業」、「その他事業」として記載していた報告セグメントにつきましては、第1四半期連結会計期間において「レディスサービス事業」セグメントに属する全子会社を第三者へ譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、従来の「その他事業」セグメントを再編し、「システム開発」及び「WEBサービス」の2区分に報告セグメントを変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。